

箏用ピックアップ取扱説明書

(13弦、17弦用) CPS-K1型

右の写真は CPS-K1 型箏用ピックアップの写真です。
次に取り付け手順に従って取り付け方法を説明します。

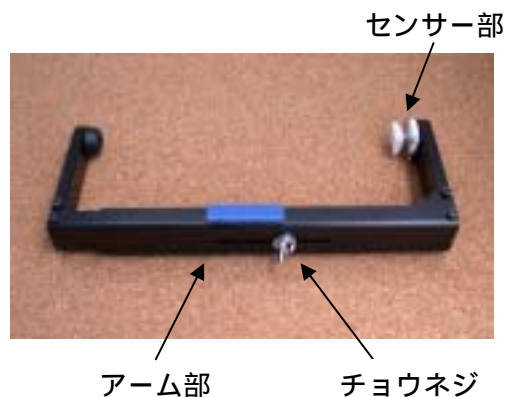
1

このピックアップを取付ける箏が13弦か17弦かによって、
チョウネジを取付けるナットを変えます。

チョウネジを一度取り外して、13弦に取り付ける場合は
13弦ナットに、17弦に取り付ける場合は17弦ナットに
チョウネジを取付けます。

このとき樹脂チップの球状のくぼみをセンサーの半球状
の突起に合わせて装着します。(右下写真参照)

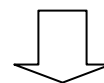
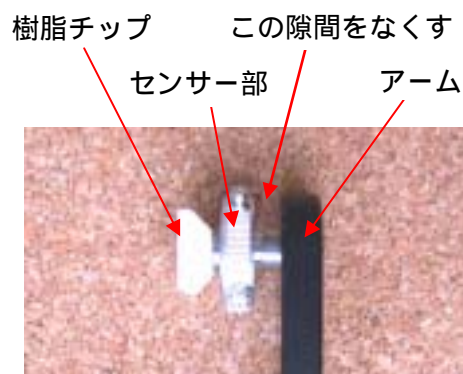
この樹脂チップは磁力でセンサー部に吸着するようにな
っていますので、近づけるとパチンと吸い付きます。



2

センサー部を回転させて、センサー部とアームの間の
隙間がなくなるまでセンサーを移動させます。

後でセンサーを繰り出しますので、軽くセンサー部が
アームに接する程度にします。



この状態で OK です。



4

取付位置を見極めます。

最初に使用される場合は次の位置に取り付け、試して見ることをお勧めします。ピックアップを取付ける前に、取り付け位置をよく覚えてください。

13 弦の場合

右の写真のように雲角からピックアップの中心までの距離が5～10cmとなるようにします。

ピックアップ音を聴きながら演奏して、ある音程の音のみの音量が大きい場合は、ピックアップの位置をずらすと改善できます。

箏の個体差により傾向が異なりますので、多少の試行錯誤が必要です。

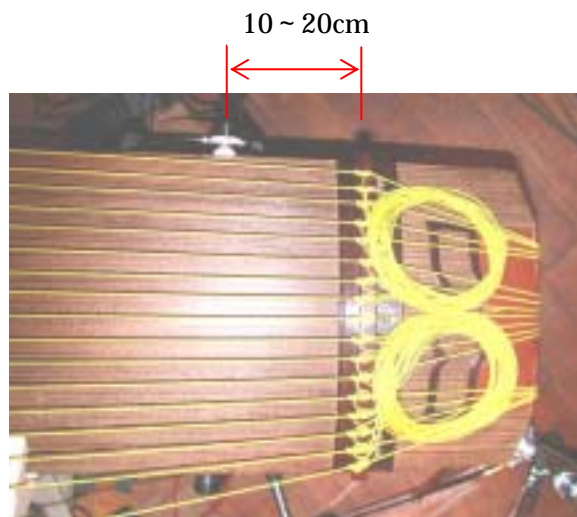
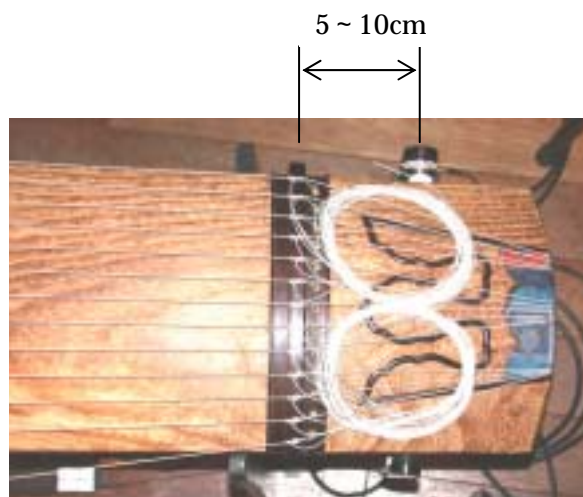
17 弦の場合

右の写真のように雲角からピックアップの中心までの距離が10～20cmとなるようにします。

17 弦も 13 弦と同様にピックアップ音を聴きながらピックアップの位置の調整を行って好みの音を探してください。

また、上記のようにピックアップを取付けた場合、弦を弾いた瞬間の音が聞き取りにくいことがあります。そんなときはピックアップを龍角側に取り付けることで音の立ち上がりがはっきり聞こえる場合があります。右の写真を参考に取付けてください。

この場合もピックアップ音を聴きながらピックアップの位置の調整を行って好みの音を探してください。



横から見たピックアップの取付位置

13 弦、17 弦ともに、ゴム当てと樹脂チップの上端が、箏の甲になるべく近づくように取付けます。(下図参照)

ピックアップの取り付け位置が下にずれると、ピックアップ音に箱鳴りが付加される傾向がありますのでご注意ください。



⑤ ピックアップの取付

ピックアップを箏に取り付けましょう。

アーム部に付いているチョウネジを少しゆるめて、アームがスライドできるようにします。

前の項で説明した取り付け位置にピックアップをあてがい、ゴム当てと樹脂チップで箏をしっかり隙間無くはさんでチョウネジをしっかりと締め、アームがスライドしないように固定します。

このとき右上の写真のように、左手でセンサー側のアームを持って、右手でチョウネジを持ってゴム当て側アームを移動させながら箏にフィットさせると簡単に取り付けできます。



次に、センサー部を回転させ(右の写真参照)ゴム当てと樹脂チップで箏をしっかりはさみこんで、ピックアップが容易にずれないように固定します。

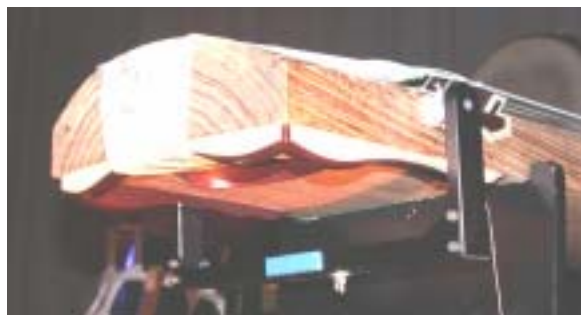


この方向に回らす

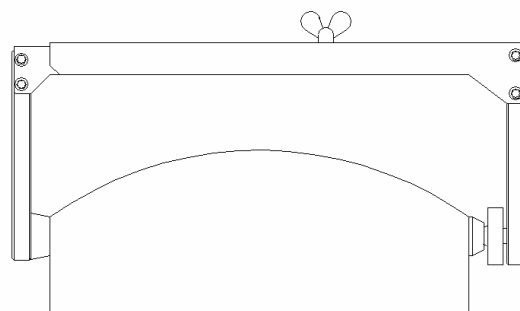
注意

このときアーム部(黒い部分全体)が他の物に接触しないようにしてください。接触しているとピックアップ音にビリツキ音が入ることがありますのでご注意ください。

立奏台などに接触しないようにご注意ください。



箏を畳や床に置いて演奏する場合はアーム部を箏の上側にして取り付けることも可能です。



6

出力ケーブルの接続

右の写真に示したミニプラグをセンサー部に4つ付いているミニジャックのいずれか1つに接続し、1/4プラグをピックアップ音を入力する音響機器に接続します。

ミニプラグ

1/4プラグ



出力ケーブル

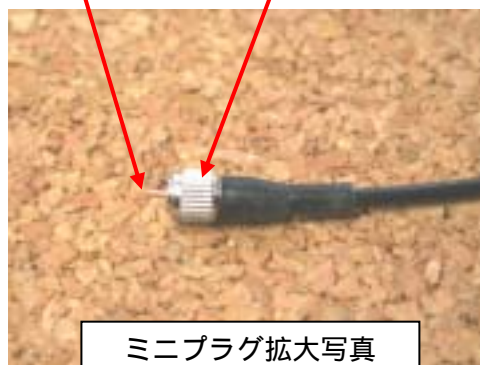
7 ミニプラグの接続

右のミニプラグの拡大写真でコネクタの先端にあるのがピンで、外周ネジはプラグとジャックをしっかりと固定します。

このミニコネクタは工業振動計測に古くから使われて来たもので、振動しても雑音を出したり、接触不良を起こすこと無く非常に安定に信号を伝達してくれる特殊コネクタです。

ピン

外周ネジ



ミニプラグ拡大写真

箏にしっかり取り付けられたセンサー部にある4個のミニジャックのうち、できればケーブルの取り回しに無理が無く、取り付け易いミニジャック1つを選んでミニプラグを接続します。難しいことを考えずに取り付け易いミニジャックでも特に問題はありません。

そして、ミニプラグのピンをそのミニジャックの中心のコンタクト穴に差し込み、奥までしっかり挿入します。



次に、ミニプラグの外周ネジを右に回しミニジャックのネジにしっかりと締付けます。

これが緩んでいると雑音や音切れの原因となりますので、しっかり締付けてください。



最後に、ケーブルが引っ張られてもコネクタ部にストレスが加わらないようにケーブルをクランプします。

次の3枚の写真を参考に、コネクタ部にストレスが加わらないようなケーブルのスタイルにして、ケーブルをクランプに固定します。

コネクタの位置がどこに来るか分からないので3つの例を載せました。



ケーブル クランプ

右の写真のように、ケーブルをクランプします。

このときケーブルの外皮を傷つけないよう注意してください。

これでピックアップの取り付けは完了です。



8 1/4 プラグの音響機器への接続

このピックアップはピエゾ(圧電)式ピックアップですので、ハイインピーダンス(1Mohm 以上)受けの機器に接続して使用すると低音までフラットな音質が得られます。

次のダイレクトボックスの使用をお勧めします。

Countryman 社製 TYPE85 FET DIRECT BOX

INPUT SW を PICKUP 側にしてご使用ください。(入力インピーダンス: 10Mohm)



Roland 社製 BOSS DI-1 Direct Box

ATT SW を 0dB ポジションにてご使用ください。(入力インピーダンス: 4.7Mohm)

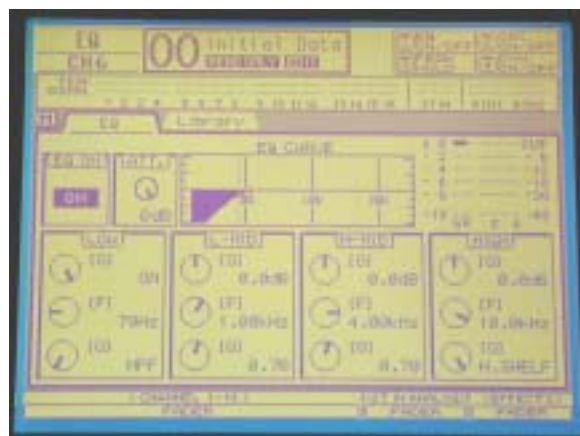
0dB 以外のポジションは入力インピーダンスが37Kohm以下となるので避けてください



9 ミキシング時のイコライジングについて

ピックアップ音に、弦をはじいた瞬間にごく少量ではありますが「ポコ」と言う衝撃音が入る場合があります。これは奏法や個々の楽器の振動特性によって大小するようです。これが気になる場合は、これを取り除くために100Hz以下をカットするようイコライジングをしてご使用ください。

この100Hzは13弦の最低音Dがおおよそ147Hz(A=440の場合)ですので100Hz以下をカットすることによって、箏の音色に影響を与えずに「ポコ」と言う衝撃音を軽減することができます。



イコライジング例